

令和7年3月7日

## 令和6年度 とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	江東区立第三大島幼稚園
所在地	江東区大島7-39-2-101

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など)

本園は、自然が豊かな園庭があり、虫探しをしたり花を摘んだり自ら自然に関わって遊ぶ幼児が多い。自然に触れる中で、気付いたり感じたりしたことを様々な方法で表現し、探究して行ってほしいと考え、テーマに設定した。

### 2. 活動スケジュール

- ・野菜、草花の栽培、収穫
- ・自然発見体験会
- ・遠足
- ・砂、土の搬入
- ・移動動物園
- ・花のトンネル作り
- ・池の整備

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・色水や砂遊びなどが楽しめる遊具
- ・遊びに使うことができる草花
- ・砂を運ぶための手押し車
- ・土
- ・プランター
- ・アーチ
- ・丸太

#### 4. 探究活動の実績

##### <活動の内容>

- ・園庭の草花などを見直し、こどもたちが自分たちで遊びに取り入れていけるものを育てる。
- ・栽培物を収穫し、会食したり、遊びに取り入れたりする。
- ・水族館、移動動物園での生き物との触れ合い。
- ・講師による自然発見体験会
- ・砂場の砂、土山の土を増やし、感触の違いや性質などを知る。
- ・池の整備
- ・プランターとアーチのトンネル作り
- ・丸太の設置      ・橋の設置      ・花壇への階段の設置

##### <活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

- ・遊びに取り入れやすい草花や材料があることで、この草花を使ったらどうなるだろう、次はこの材料でやってみようとする姿が見られた。試したものを友達同士や保育者に見せようとする姿も見られた。
- ・生き物と触れ合ったことで、遊びの中で動きを再現したり、絵で表現したりする様子があった。
- ・こどもたちのやってみようという気持ちを汲み取り、園庭でのキャンプごっこ、土山の土改良、土滑り池の整備などを行う中で、自然の変化に自分たちで気づき、教師や友達にやってみようという話を伝えたり、自分の考えたことを話したりしていた。こどもたちの話を仲介しながら、できることを一緒に考えたり、実現できるように援助したりする保育者の関わりも見られた。

##### <活動の様子>



## 5. 振り返り

(振り返りによって得た保育者の気づき)

- ・教師主導になりすぎず、こどもたちと一緒に考えたりや楽しみながら取り組んでみたりすることが幼児の主体的な探究活動につながっていくことが分かった。
- ・必要な遊具や用具があることで、こどもたちの探究が深まっていくことが分かった。
- ・遊具や用具の出し方もこどもたちのやってみたいにつながることを分かった。
- ・トンネルや丸太、橋、階段などがあることでこどもたちがどのような動き、反応をするか考えながら設置方法や場所などを検討し、その後のこどもたちの様子を共有することが学びにつながった。

以上